

オーガスチンの まなざし



主教 小林 尚明

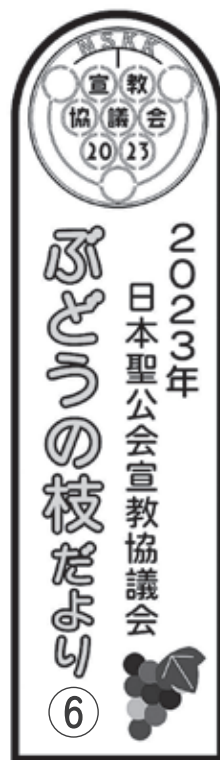
『日曜学校礼拝奉仕』

昨年12月24日(土)、午後2時から大聖堂の日曜学校のクリスマス礼拝が行われ、司式とお話を担当しました。

『今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった』という聖句を選び、「イエス様のお生まれ」というタイトルの紙芝居を使いました。ローマの兵隊の命令やベツレヘムへの旅、宿屋に部屋がなく、家畜小屋での出産、羊飼いのみ告げと礼拝です。コロナのために三年ぶりということでスタッフの皆さんも準備万端。沢山の子どもたちや保護者のみなさんが集まってくださっていました。

一通り、紙芝居を使ってお話しした後、「イエス様がどうして救い主なの?」という問いかけを子どもたちにしてみました。「神様の独り子だから」という返事を聞いて、「なるほどね。そうだよね」と相槌を打った後で、「イエス様は大きくなって、神様のお話をして下さって、聞いた人たちが、心が温かくなつて、神様に愛されているんだと思えるから」と説明しました。そして、「そうですね?」という私の問いに、スタッフの方が、打ち合わせ通り、「その通り!」と二人が答えてくださり、よい雰囲気になりました。そして、「みんなもミカエル教会に来て、いっぱいイエス様のお話を聞いてくださいいね」と伝えました。

『子供たちをわたしのところに来させなさい(マルコ10章14節)』とイエス様が言われています。子どもたちは教会の宝であり、希望です。イエス様のお話を聞いていきたいと思いますものです。
(神戸教区主教)



11月10日(金)〜13日(月)

に開かれる宣教協議会。現在、プログラムを固め精査する作業が進められています。物語を大事にしたプログラム、社会の中で声をあげられない人と働く方々を招いてのパネルトークとグループディスカッション、宣教協働区へ向けて等。準備はこれから益々深まっています。

メッセージ(要約版)

「宣教協議会への招き」

実行委員長 主教 磯 晴久

*全体の内容は配信しています。「2023 日本聖公会宣教協議会ブログ」と検索、または

QRコード



みなさんこんにちは。この

宣教協議会は前回の宣教協議会から10年後に実りを持ち寄ってまた集まりましょうとの約束から開かれます。その後、新型コロナウイルス、世界各地の争い、環境問題や災害で、多くの人が苦しむ社会に生きづらさを感じている人がたくさんいます。教会も課題を抱えています。教会は岐路に立っていて、これらの道をどう歩んでいこうかと悩んでいるところがあるとありますが、私たちは今、希望を持って神の国へ歩む旅人としてこの宣教協議会を目指しています。

中で気づくのです。この人たちに必要なのは水とパンだと。それから彼は灌漑施設を作り、土地を耕し、地域の人と一緒に歩きました。水とパン。実はシンプルなことでした。

私たちが今行わなければならない事は何か、関わらなければならない事は何か、何を、皆で知恵と力と想像力を出し合い新しい宣教のビジョンを発見する、そのような協議会になったらと心から願っています。その根底には、主イエスが私たちのところに来てくださった、隣人愛の大切さを伝えるために私たちのところに来てくださったということを忘れてはいけません。どうぞいろいろな形でこの宣教協議会にご参加下さいますようお願いいたします。

福澤真紀子
2023宣教協議会実行委員